

# 議会広報広聴委員会記録

令和元年 5 月 27 日（月）

14時04分～15時40分

議会第3委員会室

- 【出席者】 小川委員長、川上副委員長、  
三浦委員、沖田委員、西川委員、村武委員、笹田委員、芦谷委員、  
田畑委員、澁谷委員
- 【事務局】 篠原次長、近重書記
- 

## 議題

### 1 議会報告会について

#### (1) 報告書内容の確認について

資料1-1…テーマ別報告一覧表

- ▶ テーマを提案した委員会にフィードバック項目を返す
- ▶ 内容は委員間で共有

資料1-2…アンケート以外でのご意見等について

- ▶ 執行部として取り組んでいることを回答し、内容は議員間で共有

#### (2) 今後の運営について

資料1-3…令和元年度議会報告会アンケート集計

資料1-4…令和元年度 議会報告会 アンケート集計結果

資料1-5…議会報告会参加者推移表

資料1-6…議会報告会にかかる議員からのご意見及び要望一覧

#### (3) その他

## 2 行政視察

### (1) 視察行程について

資料2-1…令和元年度 議会広報広聴委員会 行政視察行程表（案）

### (2) 視察内容について

資料2-2…議会広報広聴委員会 行政視察先及び視察内容一覧

資料2-3…議会広報広聴委員会 行政視察 事前質問票

### (3) その他

## 3 その他

次回委員会 開催予定日：令和元年6月25日（火）  
個人一般質問終了後 第1委員会室にて

## 【議事の経過】

[ 14時 04分 開議 ]

小川委員長

本日、澁谷委員が欠席ですが、9名ということで定足数に達していますので、ただ今から議会広報広聴委員会を開会したいと思います。よろしくお願いします。

本日は主に2点です。議会報告会は本当に皆さんお疲れさまでした。今回は班長さんにご苦勞いただいた関係で大変スムーズにいきましたし、参加者も例年になく多かったです。反省点も含めて出された意見をどうするか1点目。

もう1つは行政視察の関係を調整します。その2点について進めていきたいと思いますので、よろしくお願いします。

### 1. 議会報告会について

#### (1) 報告書内容の確認について

小川委員長

当初近重さんから報告書書式についてお渡ししてもらっていますが、出てきてないものもあります。フィードバックする部分、執行部に意見を求める部分がありますが、最終的には議会だよりの原稿にもしていかないと流れていきます。特に班長さんを中心に、これをどのように扱っていくかについて確認したいと思います。前提として一覧表の説明を近重さんからご説明いただきます。

近重書記

( 以下、資料をもとに説明 )

小川委員長

班長さんから今後の扱い等でお考えがあったらお願いします。

西川委員

例年のように皆さんの意見を振り分ける作業ですが、今回は皆さん意見を反映したいということです。結構そのまま班長さんがまとめたものを事務局にまとめてもらっていますので、会場ごとに重複するものはないかもしれませんが、他の会場との重複についてはチェックしていませんので、生に近い意見が今はたくさん出ています。これについてどうするかを皆さんで話してもらって、量が多いのでどうしたら良いかも考えたいので皆さんからご意見をお願いします。

小川委員長

18ページ分ありますので項目で言えば相当な数です。

近重書記

1ページに20項目とすれば360項目くらいです。

小川委員長

春の議会報告会の中で出された意見の中で執行部に投げかけて回答をもらったものは、議会だよりで返しているのが例年春の議会報告会記事となっています。チェックがついているものは近重書記から説明があったように、報告書が出された段階でフィードバック確定のもの、執行部に意見を

求めるものはそちらに書いてあります。それ以外はほとんど空白になっていますので、出された意見が羅列してあってそういう分け方がしてない報告書だったもので、その辺りをこの中で振り分け検討するのも含めてご意見があればと思います。

三浦委員

最初に、委員会に戻しましょうというものと、執行部に聞きましょうというものを分けた方が良いですね。多分そこは手間も考えてそのようにしていたのですが、何を執行部に回すかの判断を報告者の私見で判断するのもどうかと思ったので、それは委員会でやってもらうのが良いだろうという経緯があってこの形になっています。なので、各委員会から「このテーマについて」と出してもらっているので、例えば産業建設委員会なら産業建設委員会メンバーの中で協議して割り振る、というのはどうですか。

小川委員長

それなら単純にできますね。

三浦委員

テーマが委員会から出てきているので、また委員会メンバーに戻して、委員会の中で執行部の状況や現況を把握している部分もあるかと思いますので、踏まえて割り振れば作業分担もしやすいのではないのでしょうか。報告者から「私がやって良いのか」と言われて、確かにそうですね、と。

小川委員長

今出されたものがこのような形になっているので、これを3常任委員会に分けて、執行部に聞いてもらうものと委員会として検討するものを協議して、質問者に返した方が良い内容かどうか等も、検討してもらうのは各委員会で。今は政策討論会の関係もやっている最中なので、これもお願いしたら反発があるかもしれませんが、どうでしょうか。

川上委員

三中の注文やその他については、先に調べてこなければいけないと思うけど。その他が結構あったので、あれだけ軽く取り上げないといけないかなど。

近重書記

17、18ページ。

川上委員

そこだけ考えて欲しい。

三浦委員

みどりかいかんの3番目は、この事業についてどういう意見が出たのかが分からないですね。開府400年事業について、この2つの事業が何なのかという質問なのか、何でしょう。

( 「多分意見なのだろう」という声あり )

4番も意見ですか。

芦谷委員

これは私、3、4、5、6、7は、始めの説明の中で質問としてあったものを参考に上げたものです。

三浦委員

予算書の説明について。なるほど。

沖田委員

テーマとは全然関係なく。

三浦委員 9、10番は自治区制度特別委員会ではないですか。こういう意見がありました、ということ伝えるだけで良いですか。

( 同意の声あり )

近重書記 テーマはあくまで総務だけど、中に他の委員会のが混じっているのがあるのではないかと。子育てについても、教育面で言っておられる意見もあるし。

小川委員長 特別委員会にももちろん、出た意見は伝えないといけないけど、基本的には常任委員会に伝えた方が良い気がする。特別委員会はあくまで特別委員会だから。

笹田委員 地域の集落や産業ならまた分かれるから。テーマで出てきたことに関してそこで判断して、これは向こうだと思えば返してあげましょう。その他も含めて。産業で話をしているも総務に返さないといけない部分が出てくることがあるから、判断は各常任委員に任せて。

田畑委員 その他の28番は解決した。

小川委員長 この意見が出た翌日には、副議長と私と沖田委員の3人で教育委員会に行って伝えたら、すぐ対応してくれて総務文教委員会で報告を受けた内容で、翌日にはまたその3人が下有福へ行って、教育委員会の対応は6月1日からこうなりますと説明して、一応納得してもらっています。

田畑委員 一番悪いのは総務文教の地域政策部だから。お粗末も良い所だ。各常任委員会と特別委員会に振り分けをして、整理整頓して、常任委員会あるいは特別委員会の判断で。

小川委員長 総務に振り分けても、これはどちらかと言えば建設だとなれば、そちらに返してもらって。

田畑委員 重なるものもあるから。

小川委員長 それはこちらで分けて良いですよ。

近重書記 今の表に、前の地域井戸端会みたいに常任委員会の枠をやって、ここだったらここに丸を付ける作業ですか。

小川委員長 その感じの方が楽だよ。項目を分けるよりは丸を付けた方が。

近重書記 そこでやってみてもらって確認して。多分また議運を通して。広報が他の常任委員会に投げて良いかという話になって、議運を通して井戸端会はまとめました。

小川委員長 確かにこちらが勝手に常任委員会に振る権限はないかもしれない。

三浦委員 割振るまではできますよね。

小川委員長 割り振って、こういう案でどうかというのは3人くらいでやればできる話ですから。

近重書記 丸つけるくらいは、こちら側でやって流して。

川上委員 流すものをここで確認しよう。

笹田委員 特別委員会は少ないから、正副委員長に言って変えてもらってあげれば良いです。皆を集めてやろうとなるとまた大事になるから。正副委員長に一任してもらって。

川上委員 他の常任委員会も正副委員長に一任するだけで良いと思うが。

笹田委員 ここは常任委員会から出ているから、常任委員会の分はここでやれば良いです。特別委員会は正副委員長に任せてもらっておく。

三浦委員 これはゆくゆく、出た意見をピックアップして掲載するのはこの委員会の仕事ですよ。

小川委員長 そうです。

三浦委員 それはこっち側の作業として、各委員会に割り振ったものは各委員会に出た意見を渡して、委員に共有してもらっただけで良いのではないですか。出た意見の中からピックアップして報告を作るのはこちら側の話なので、何を載せるかまで委員会の判断に委ねたらすごく時間がかかって難しいと思うので、こちらで協議すれば良いのではないですか。

笹田委員 一応この中身は委員会に返すわけですか。

（ 「報告だけ」という声あり ）

では向こうに何かしてくれという話ではないのです。それをまた何かしてくれと言ったらややこしくなるから。

三浦委員 報告だけ。参考になるし、それを戻さないと、あちらからこういう意見が欲しい・聞きたいという体でこのテーマを選定しているので、出た意見を整理して戻してあげるところまではやってあげる。

小川委員長 執行部に回答を求める分の選び方というか、執行部に聞いて議会だよりに掲載の方が良い物は。

（ 「こちらで決めよう」という声あり ）

笹田委員 執行部に聞いても困るものが一杯あるから。聞いてパッと答えが出る物でなければ聞いても苦労するし、仕事が増えるだけだから。

三浦委員 曖昧な回答を返しても。

川上委員 15ページの内容はそのまま各委員会に返せるな。

近重書記 17、18ページがその他の項目になりますので。

川上委員 そこを振り分けないとね。フィードバックは全部フィードバックするのだから、あとは執行部への照会は。

（ 「それはこちらで」という声あり ）

こちら側で。この場で決めるか、持ち帰って決めるか、各常任委員会の

担当者で決めるのか、ですね。

( 以下、自由討議 )

小川委員長

では、まとめます。

総務関係：1、2、8、9、10、12、14、17、20、21、22、23、25、26、27

産業関係：13、15、19、24

福祉関係：16、18、25

11番をどうしましょうか。

( 「ここで良いのでは」という声あり )

広報広聴でやりましょうか。この中で執行部の意見を求めて回答を返さないといけないものは、この中で振り分けましょう。近重さんそれで良いですか。

近重書記

1から17はテーマで全部。中に何か混じっていても無視して。

小川委員長

それは受け止めた委員会の方で、これは違うと思えば適切な委員会へ振ってもらおう。

近重書記

中継プレイになったら怖いかなと。今回もありましたが産業に振ったら中山間とか自治区に振り直されたりして。

小川委員長

議運に言ってみようか、それで良いかという物は。

近重書記

来週は多分いらっしゃるか。

笹田委員

いちいち議運を相手にしなくても良いのでは。

小川委員長

出された意見を、各委員会ごとのテーマに対してお返ししました、その他についてはこちらで分けて。

笹田委員

議運からの指名だったら返さないといけないけど別ですから。ここにいる常任委員会メンバーで決めた振り分けなら良いでしょう。

田畑委員

そう思う。

近重書記

では、小川委員長の名前でお返しする。

小川委員長

テーマも委員会で練って出してもらったものだから、それに基づいて出された意見だからお返しする、それで良いか。

近重書記

そこの判断とここの判断はこの皆さんが委員としてされる。

小川委員長

委員会所属の広報広聴委員でやろうと。

( 以下、自由討議 )

小川委員長

5月31日。

田畑委員

金曜日。

川上委員

夕方までに返すか。

( 「その形で」という声あり )

エクセルにチェックいれてくださいと。

近重書記

ちょっと編集してまた渡します。

( 以下、自由討議 )

小川委員長

(1)はそれで良いですか。

( 「はい」という声あり )

三浦委員

国府の件はどうになりましたか。国府公民館さんが善意で、たくさん意見を集めた方が良かったからとボックスを置いてくださったのです。そうしたら回答を求めますというのが入ってしまったので、ボックス設置した以上それは返さないといけないから、どうしようかなと。意見は意見としてどこかに入れ込んだ方が良くと思います。例えば(2)のものは産業に振っておくとか。お魚センターも。もうアンケート用紙に「回答してください」と書いてあったので。

村武委員

アンケートを書いた人が「回答を求めると」。

三浦委員

投書された方が「回答を求めます」と。

村武委員

って書いて入れておられたと。

三浦委員

そう、だから誰か分からないから、何かしらの回答を公民館に貼りたいのだと公民館の職員さんが。

( 「それはそうだ」という声あり )

笹田委員

ただ、回答難しいよね。

三浦委員

だから「こうこうこうです」という何かしらのものを戻してあげた方が良いです。

笹田委員

道路に関しては「順番に直しています」としか言いようがない。

三浦委員

そう。

笹田委員

もしくは陳情してくださいとか。お魚センターは余計難しい。

村武委員

善意でやってくださったのだけど、こういうのはなかなか難しいですよ。

( 以下、自由討議 )

三浦委員

例えば議長なんでもメールにもしこれが来たら、どのように答えていますか。

近重書記

執行部に振って……。

三浦委員

では議長何でもメールと同じ取扱いにしたらどうですか。たまたまあの場所でもらっただけという扱いにしたら、分けられるのではないですか。

近重書記

多分回答は書面か何かで送らないといけないので、そこは事務局の判断になります。

( 以下、自由討議 )

三浦委員

報告会に出た意見として取り扱えば全部の中に入るから、回答をどのよ

うにするかは別の話になるのではないですか。本当は入れたら良いと思います。

笹田委員  
三浦委員

これだけ特別扱いのような感じがするよね。それは良くないと思う。それを公民館の方に説明するか。他の意見もこのように戻しているので、先日投函されたご意見については一律このように対応します、ということをあそこに書いていただく。

川上委員

各委員会へ委託しました、その中に回答を求めたいものがあれば、回答できるものがあれば1つでもしといてあげるといいねということだな。

三浦委員

全部まとめてあるから全部に個別にお答えするのは正直難しいけど、それならどういう表現で返すかです。

小川委員長

その方が良いかもしれない。でないと、議会報告会で出た意見の取扱いと差が出てしまう。

笹田委員

これ議会報告会の中の1つではなく、違うものにして、公民館から意見をいただいたことで受けたからそれに対して返すという形にしないと。議長メールと同様にしないと、同じような意見があるから、それに皆返すことになるから。紳士的に受けるなら別で受け止めて、議会報告会とは違うルートで返した方が良い。

( 以下、自由討議 )

村武委員

私もあの箱が置いてあるのを知らなかったの。相談もなかったし、すみません。

笹田委員

善意でやってくださったのだから。

村武委員

あらかじめ分かっていたら相談も出来たかもしれませんが。

三浦委員

今回はやっていただいたことなので。公民館の方が協力的に配慮してくださったことで、それは素晴らしいと思います。

近重書記

公民館だよりも案内と結果を載せておられました。

( 以下、自由討議 )

笹田委員

でも今回の議会報告会のためにやってくださったんだろう。だったら委員長名で返してあげたら良いのではないの。

田畑委員

善意として取れば確かに善意でやってくれたと思う。これが進んだとして、浜田の全公民館で意見ボックスをやり出したら広報広聴は收拾がつかなくなるよ。

笹田委員

その時は回答が難しいということを伝えておかないといけない。

田畑委員

匿名意見を受け付けだしたら大変だと思う。

笹田委員

願望や要望レベルだから。

田畑委員

無視しろとは言えないが、前例を作ると議会側も辛くなる。

芦谷委員	広聴機能として意見をもらうのは無視したらいけないと思います。
田畑委員	もらうのは良い。住所氏名を明記して寄こされたものなら、こちらも襟を正して返してあげないといけないと思う。
芦谷委員	無記名でもホームページや広報等で返すことを考えれば良いのだ、その時に。
田畑委員	返す方法の選択肢はいくらもないのだから。
芦谷委員	だからできる方法で。
小川委員長	今の話の流れだと返し方がないのだけど。具体的に4つの問題が出ていて。匿名ではなく名前が書いてあれば返せるけど、特別扱いするのもどうかという話もあるし、広報広聴として意見を出してもらったし善意でやってもらったので何とかそれに応えなければいけないというのもあるけど、委員長としてどう回答したらいいのかというのと難しい気がします。
芦谷委員	取扱いは、館長をしてそういうことになったし、ボールをもらっているのだから、ボールを返すなら最低限館長さんをして返してあげれば、うちの務めは終わると思うが。
三浦委員	どう回答をするか。議会は議員それぞれ考え方が違うので、1つの回答を出すというのは難しい。ご要望としてお伺いいたします、執行部として現在取り組んでいることについては以下の通りです、といった形で、現状で戻せることは回答するし、いただいたご要望は議員間で共有しています、そういう回答しかできないのではないですか。議会でこれ1つ1つに結論を出すのはできないですよ。
小川委員長	出すとしたら最初に言われたように各常任委員会に振り分けて。そうなっていくとちょっと難しいだろうし。
三浦委員	議会としてご要望をうかがいました。
小川委員長	中途半端だけど、そのくらいが限界かな。
	( 以下、自由討議 )
小川委員長	分かりました。ではそういうことで置きます。

## (2) 今後の運営について

川上副委員長	今までもそうでしたが、議会報告会が終わった後に広報広聴の皆さんだけでなく参加された皆さんの意見、気づいた点等を今後に活かしていけばということで、1つの書式のような形で送らせてもらっているものがあります。近重さんから説明をお願いします。
近重書記	( 以下、資料をもとに説明 )
小川委員長	これは確認だけで良いですね。よろしいですか。何かお気づきの点があ

りましたら。

芦谷委員 参加者が少ないことがネックで、色んな意見を出しながら、より住民が参加しやすい形を模索し続けて進化し続ける在り方を。

小川委員長 私も書いていますが、今回一番大きいのは班長会で色々煮詰めてもらったこと。色んな良い影響が出たと思っております。参加人数も運営の仕方を含めて、どこも上手く進んだと感じています。テーマを決めたけど、テーマではなく私はこれが言いたいという人が来た時の対応をどうするかも事前に打ち合わせしていたので、国府公民館のときは副議長と2人で担当でバスのダイヤがなくなって通学に関する想定外の質問にも冷静に対応ができました。今後もこの形を踏襲していけばいいのではと思いますが、それはあくまで感想です。

笹田委員 毎回やっても、やはり旧那賀郡は参加者が多いです。思いが強いです。今回も周布エリアには相当宣伝しましたが人数は少なかったです。考えられる手は打って、チラシも400枚くらい配りましたが。

田畑委員 だいたい周布、長浜、三隅、国府は参加が多くて驚いた。10~20人来ることないんだ。いろいろ地域の課題があるからという思いもあるのだろうけど。三隅の場合は、テーマが決まっていたから黒沢公民館のまちづくり委員会の人たちがたくさん来た。自分たちの足をどうしてくれるのかと。参加された方は一般質問に利用して欲しいよな。

笹田委員 多い少ないがあるので課題としてあるかなと思いますが、ではどうしたらいいか。1本釣りすれば良いのでしょうか、議員の支援者ばかり集めてやるものではないので。

小川委員長 三浦さんは今回頑張って、4テーブルくらいに分けて正解くらいの人数が来られましたが、何か得策があったのですか。

三浦委員 声をかけましたよ。個別に。来てくださって。そういうことをしないと、ただただ「やります」だけでは来ないので。誰か1人連れてきてと言って、2、3人。

笹田委員 最初はそれをしていたのですよ。

三浦委員 なぜやめたんですか。

笹田委員 興味が無いからだろうね、毎回毎回同じことやるから。もう行かないと言われて。興味のある人は何も言わなくても来るから。

田畑委員 余程その地域に逼迫感でもあれば、行って何か言わないとという気にもなるが。

笹田委員 ただその場合は、来てあげたという感じになる。来たけど何も得られなかったとか。

三浦委員

よく言うのですが、いきなり白い画用紙を渡されて絵を描いてくださいと言われると結構難しいですよね。でも塗り絵を渡して好きに塗ってもらえば結構できます。議会報告会も、何でもいいから意見聞かせてくださいという、そこに来る意味はあまり感じないですよね。でも今回意見があってフリーで言わせて欲しいという方ももちろんいらっしゃいましたが、フリーにすると本当に人が来るのかということそれはまた別問題。だから、ある程度テーマを絞ってもそれに対して何かを言いたい人、ターゲットを絞って問いかける方がやりやすいと、僕は個人的に思っています。

今回は例えば子育てがテーマになっていた会場で、連絡をしたのですがその時間に出られないという声が非常に多かったのです。そうすると、子育て世代に対してそのテーマを設定して会を開こうとすると、開催する時間帯はかなり配慮が必要かと思います。

笹田委員

時間帯がまた難しく、土日にやっても来ませんでした。子どもがいるから出られない、習いごとがあるからとか。昼間は仕事しておられる方が多い。

小川委員長

三隅会場でビデオ撮影して言うには、来たくても来られない人にも映像を流して見せられるのではないかと。その対策もどこかでは検討した方がよいなということ三浦委員と話しました。

三浦委員

でも来られない人に映像を流すことだけが解決策ではなくて、だったら事前にご意見ボックスを置いておいて、持ち帰って何かしらの形で返してあげるのも、来られない人への対応策かもしれないですよね。カメラを置くと確かにリアルタイムでは見られるけど、皆に流れることをネガティブに感じられる方も実際にいらっしゃるの、どういうやり方が良いのかは……。指摘も確かに一理あるから、検討しておく必要はある。

笹田委員

先にテーマを出して、当日行けない人からの意見を先に聞いておいて、それについて話し合っ返してあげるのは1つの手かもしれない。

三浦委員

国府のボックスもきちんとルールを付けて置いてくださいという案内の仕方をするのは。

( 以下、自由討議 )

小川委員長

また今後ご意見等ありましたら、より良い議会報告会にしていけるように努力していければと思いますので、よろしくをお願いします。

### (3) その他

小川委員長

その他ございますか。

( 「なし」という声あり )

## 2. 行政視察

### (1) 視察行程について

### (2) 視察内容について

### (3) その他

小川委員長	先に内容について事務局から説明をお願いします。
近重書記	( 以下、資料をもとに説明 )
小川委員長	(1)から(3)まで含めて、ご意見ございますか。 2日目の高速バスの関係と2日目の懇親会をどうするかくらい。他に検討してみたいのですが。お気づきの点がありますか。
近重書記	ちなみに川上委員は途中で乗られますか。去年は確か金城で乗られましたね。
川上委員	はい。もう同じく金城で。
沖田委員	僕は浜田インターで。
小川委員長	視察関係は他にありませんか。 ( 「なし」という声あり ) 質問関係は資料を添付していますのでそれを見ていただいて、6月7日までに質問事項を箇条書きにしておいていただきたいと思います。 視察については以上でよろしいですか。 ( 「はい」という声あり )

## 3. その他

小川委員長	その他ございますか。
近重書記	次回をどうされますか。イレギュラーなことがなければ編集のお話をするか、議会報告会の扱いを間に入れることになると思いますが。 ( 以下、自由討議 )
小川委員長	よろしければ25日(火)一般質問が終わり次第、次回議会広報広聴委員会を開催させていただこうと思います。
近重書記	編集の話と議会報告会の、出す前に1回諮るので。フィードバックもこの25日でやるのですよね。
笹田委員	でも今週いっぱい決めるのでしょうか。だったらすぐ執行部に返して25日までに出来れば良いのではないの。今週末までに委員会でまとめて、委員長に確認してもらって、出すか出さないか、各常任委員会の人が決めたことだから、他常任委員会の人に聞く必要ないからあとは正副委員長に確認取ってもらって、OKだったら出せば良い。それで良いですよ。

小川委員長

今日これが終わったら各常任委員会で集まって話しましょう。  
以上でよろしいですか。

( 「はい」という声あり )

では各常任委員会委員さんで、今週中にどこまでいけるか少し検討して  
いただきたいと思います。

一応議題1から3までは以上で終わります。長くなりましたが、以上で  
広報広聴委員会を終わります。お疲れさまでした。

[ 15時 40分 閉議 ]

浜田市議会委員会条例第65条の規定により、ここに調査会記録を作成する。

議会広報広聴委員会委員長 小川 稔宏